

日本文体論学会第109回大会 公開「研究フォーラム」  
(共催:三鷹ネットワーク大学推進機構、後援:三鷹市)

## 災害と文体

# —災害社会学・言語学の観点から防災・減災・復興を考える—

### 日時

平成28年6月26日(日)

12時45分～15時

### 場所

杏林大学井の頭キャンパス

F棟3階・F309教室

### 【プログラム】

・八木橋宏勇(杏林大学・言語学)

「ことばで挑む防災・減災・復興」

・大矢根 淳(専修大学・災害社会学)

「災害社会学で振り返る防災・減災・復興の落とし穴—被災地で換骨奪胎される言葉の数々—」

・本田弘之(北陸先端科学技術大学院大学・言語学)

「情報格差を拡大させない公共サインのあり方」

・岩田一成(聖心女子大学・言語学)

「災害時の「やさしい日本語」を使うために日ごろから気を付けること」

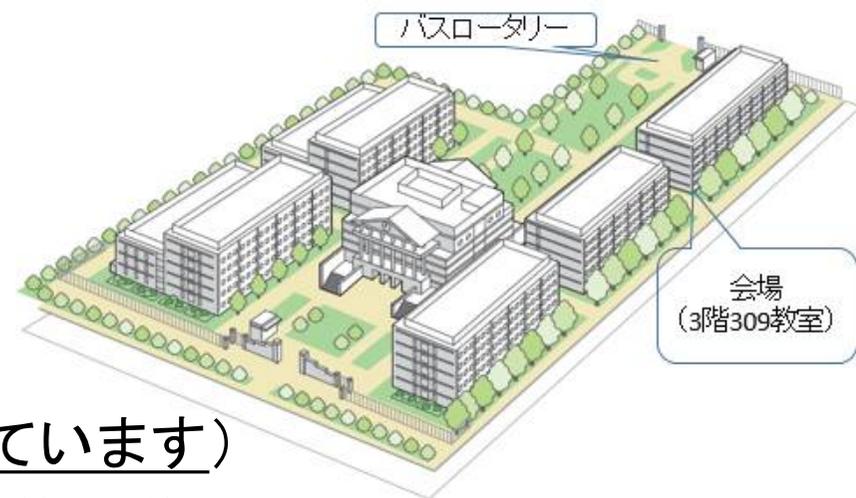
※駐車場・駐輪場はありません。会場のF棟は、小田急バス「杏林大学井の頭キャンパス」行の降車場(終点)からすぐの建物です。

本研究フォーラムは、どなたでもご参加することができます。予約不要ですので、会場へ直接お越しください。

## 杏林大学井の頭キャンパス

〒181-8612 三鷹市下連雀5-4-1

<http://www.kyorin-u.ac.jp/univ/access/mitaka.html>



### 【杏林大学井の頭キャンパスへのアクセス】

- ・三鷹駅南口バス乗り場より(20分間隔で運行されています)  
バス乗り場(8番) 杏林大学井の頭キャンパス行(約15分)
- ・吉祥寺駅南口バス乗り場より(15分間隔で運行されています)  
バス乗り場(5番) 杏林大学井の頭キャンパス行(約15分)

※吉祥寺駅南口バス乗り場からは、系統番号(行き先の前に書いてある二桁の番号)が0(ゼロ)から始まるバスも全て利用可能です(「新川(野村病院前)」下車(約15分))。ただし、バス停から会場のF棟までは徒歩で5分ほどかかります。できるだけ「杏林大学井の頭キャンパス」行をご利用ください。